

2011年度

科目名	産業カウンセリング				
担当教員	小西 宏幸				
配当	人社3		コード	23081	
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数	2
授業テーマ	産業場面におけるカウンセリング心理学の知見の活用について考察します。				
目的と概要	心理学は基本的には個人の行動原理に関する学問です。そして、人間が公的な組織でさまざまな活動を行うと、多様な心理現象がつきまといます。この講座では、職場ストレスに関する具体的問題とその予防・対処法について、心理学からみたカウンセリングの原理を学習します。				
成績評価法	試験(70%)＋平常点(30%) 平常点は、レポート提出などによって加味します。				
テキスト	CPI研究会編 「産業心理臨床入門」 ナカニシヤ出版				
参考書	原井宏明「対人援助職のための認知・行動療法」金剛出版 フリーマン他著「認知行動療法事典」日本評論社 など、その都度、紹介します。				
履修に当た ての注意・助言 /準備学習	この科目は、応用領域です。少なくとも「産業心理学」は習得済みであってほしい。さらに、さまざまな心理学やカウンセリング関係の科目を履修中か習得済みであることが必要です。産業場面での心理援助には多様な制約がつきまといます。よって、きわめて実践的な方法論が必要となります。少なくとも、短期療法や認知行動療法に関する専門文献を予め、読んでおく姿勢が必要です。さらに、「心理学演習ⅢB」との同時履修も役立つといえます。 キーワード理解は、さまざまな事典などを利用してください。				
講義計画					
第1回	全体的なガイダンス				
第2回	産業カウンセリングの担い手・心理学専門職としての資格の問題				
第3回	産業カウンセリングの視点：特に、カウンセリング心理学の観点から				
第4回	産業場面におけるさまざまな心理アセスメント				
第5回	方法論基礎（１）：認知行動療法				
第6回	方法論基礎（２）：短期療法				
第7回	職場のメンタル・ヘルス				
第8回	労働とライフスタイルの問題：仕事依存症やさまざまな嗜癖について				
第9回	職場ストレスと精神衛生（１）：人間工学からみたテクノストレスなど				
第10回	職場ストレスと精神衛生（２）：労働条件とバイオリズム、過労とうつ病の問題など				
第11回	EAPにおける心理学の役割				
第12回	プレゼン不安とSADの問題				
第13回	通勤経路とパニック障害の問題				
第14回	問題解決とは？：予防の観点も含めて				
第15回	まとめ				